

<令和4年度 玉園ハイム 事業計画>

(はじめに)

平成12年に介護保険制度が始まり、高齢者はご家族の介護以外に介護サービスの利用により、外出や他者とのつながりなど楽しみを持ち過ごされる方が増えました。地域の中にあっても介護サービスのご利用者や街中で福祉車両を見ることが、普段の光景となりました。介護保険は、高齢者増加への対応を念頭に、制度は見直しを繰り返し現在に至っています。又、介護サービス事業者は、サービス内容の水準向上、より質の高いサービス提供を求められています。特別養護老人ホーム玉園ハイムは、介護保険制度における質の高いサービス提供が図れるよう、時代の求めるニーズに合わせユニット型施設に移行することができました。しかし、高齢者を支える介護職員不足は当施設でも喫緊の課題となっています。令和4年度は、各部署から提出された施設全体の課題を整理し、コロナ禍にあってもご入居者ご利用者が満足し玉園ハイムをご利用していただけるよう、全職員参加での技能向上と運営を目指します。

(令和4年度の目標とする利用者平均人数)

1. 施設入居者 月 48 名以上
2. 短期入所利用者 月 7 名以上
3. 居宅利用者平均 月 35 名以上

- ・毎月の収益が、借入金の返済額を下回らないよう、入居の空き期間の短縮、短期利用においては、新たな新規利用者の獲得が必要となります。
- ・耐用年数経過により計画的な福祉機器等の入れ替え必要と考えます。
- ・利用者を増やすには、安定した人員配置と技能の向上により、利用者から信頼されるサービス提供やご利用者家族との良好な関係が求められます。

「人材確保と育成体制の確立」

当施設のみならず、介護職員の人材不足は社会的問題になっています。当施設でも職員募集するも応募者がいない状況で早急な対応が必要です。

- ・積極的な施設職員からの紹介と募集による人員確保
- ・育成研修への参加と標準的育成プログラムの体系整備

「事業継続のための人づくり」

令和3年度における介護保険制度改正に伴い、専門職の配置及び介護職員未

資格者の基礎的スキル習得が求められています。

- ・資格取得促進による暫定期間中での専門職の配置
- ・介護職員の未資格者は、認知症基礎研修や初任者研修への参加促進
- ・有資格者の研修参加や新たな資格が取得できるスキルアップの推進
- ・ユニットリーダー研修等による資格取得と知識習得
- ・施設職員全体のスキルアップを目指し、サービス内容の安定化

「利用者に喜ばれるサービス提供」

介護職員の人材確保が難しい中で、サービス内容が低下しないよう、各職種との連携を図り、ご入居者ご利用者が安心して笑顔で過ごせる施設を目指します。

- ・余暇活動充実により、入居者が楽しみを持ち過ごせるサービス提供
- ・施設主体の行事を増やし、楽しみながら過ごせる機会の充実
- ・ご入居者ご利用者の心身機能向上が図れる多種職協働による計画づくり
- ・ご入居者ご利用者の暮らしぶりの積極的な報告により、ご家族が安心して施設に任していただける関係の推進
- ・看取り介護サービス時においても主治医、ご家族との連携強化と入居者の安心できる生活支援の継続
- ・近隣地域との関係を強化し、意見交換、考え方や視点等取り入れた、サービスの質向上の取組
- ・ノーリフト研修・福祉機器の導入による安心した職場作り
- ・事業継続計画の策定と訓練による、ご入居者・ご利用者の安心安全の確保

「地域と協働した施設運営」

令和3年度における介護保険制度改正に伴い、制度活用以外の施設の特性を生かした活動が求められています。「高齢者福祉」に関する知識・技術を最大限に生かした当施設としての取組が必要です。又、活躍いただける場を提供し施設としても不可欠である各種ボランティアとの連携を図ります。

- ・玉緒地区との連携強化と地域における高齢者福祉・介護での協力体制の整備
- ・ボランティアとの関係の強化と活動できる場の提供
- ・地域で安心した生活を送れる介護支援専門員増員による体制の強化
- ・自宅での介護力をサポートする短期入所生活介護サービス提供の強化

以上を令和4年度事業計画とし、ご入所者ご利用者に喜んでいただけるよう施設職員一丸となり事業運営に取り組みます。